

川崎医科大学附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科にて 片耳の難聴で受診の方およびそのご家族の方へ

当院は乳幼児精密聴力検査機関のひとつです。小児難聴を発見する機会は、乳幼児健診や就学時健診などがあげられますが、健診で発見されず、遅くなって難聴が見つかった例も少なくありません。難聴は早期に発見することで、早期に対応することができるため、子どもの発達により大きな影響を与えることができます。この研究では0歳から6歳までそれぞれの年齢で発見された難聴児について調査を行い、健診での難聴児発見のためのより効果的なあり方をして提言していくことを目的としています。なお、本研究の内容は研究に参加される方の権利を守るため、情報提供の適否について本学学長と病院長の許可を得ています。

【研究課題】難聴が疑われて精密検査機関・二次聴力検査機関を受診した0歳-6歳児についての社会的調査（国立成育医療研究センター審査番号2020-365）

【協力研究機関名及び責任者氏名】

協力研究機関 川崎医科大学附属病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科
責任者 濱本 真一

【共同研究機関】

主任研究機関 国立成育医療研究センター 耳鼻咽喉科
研究責任者 守本倫子

【協力研究機関】

日本耳鼻咽喉科学会精密聴力検査機関および二次聴力検査機関 約400機関

【研究の目的】

小児難聴を発見する機会は、乳幼児健診や就学時健診などがあげられますが、健診で発見されず、遅くなって難聴が見つかった例も少なくありません。難聴は早期に発見することで、早期に対応することができるため、子どもの発達により大きな影響を与えることができます。このため、本研究では0歳から6歳までそれぞれの年齢で発見された難聴児について全国的に調査を行い、健診での難聴児発見のためのより効果的なあり方を学会として提言していくことを目的としています。

【研究の方法】

研究対象：2020年、2022年、2024年のそれぞれ1月1日から12月31日までに難聴が疑われて当院を受診した方

研究期間：倫理審査委員会了承日から2026年3月31日まで

研究方法：当院に対して、日本耳鼻咽喉科学会が調査票を送付し、1年間に難聴を疑って耳鼻咽喉科を受診された方の人数、および難聴（片方が両方か）、紹介元、などについて人数を集計し、国立成育医療研究センター（責任者：守本倫子）に提供します。国立成育医療研究センターでは、データを集計し解析をします。

【研究に用いる情報の種類】

患者さんの年齢、難聴（片方か両方か）、以前うけた健診での聴力検査結果、紹介元（健診、医療機関からの紹介、自発的に紹介なし）、難聴があった場合の療育先、等

【個人情報の保護について】

調査対象となる情報（調査票）は各施設から、人数のみを集計したデータをパスワードをかけたファイルに保存し、個人情報が存在しない状態で日本耳鼻咽喉科学会へ送られます。学会では情報を保存、集計したのち、国立成育医療研究センターにて解析を行います。結果公開は集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、調査対象となった個々の患者さんの症例の報告は行われません。個人情報は守られ、患者さんの氏名、住所など、ご本人を特定できる一切の個人情報が公表されることはありません。

調査で得られた対象者のデータは本調査の目的以外には使用しません。

本調査についてのお問い合わせは下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合は2025年3月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。

研究代表機関：

国立成育医療研究センター 耳鼻咽喉科 守本倫子

中川尚志、小川 郁、 益田 慎、 村上信五（日本耳鼻咽喉科学会）

住所：〒108-0074 東京都港区高輪 3-25-22 日本耳鼻咽喉科学会

電話：TEL：03-3443-3085 Fax：03-3443-3037

研究責任者：

国立成育医療研究センター 耳鼻咽喉科 守本倫子

研究代表者

日本耳鼻咽喉科学会 村上信五

2021年5月25日

【問い合わせ先】

連絡担当者：瀨本 真一

〒701-0192 施設住所 岡山県倉敷市松島 577

施設名 川崎医科大学附属病院耳鼻咽喉科

電話：086-462-1111（内線44492） FAX：086-464-1197

e-mail：mskz-h@med.kawasaki-m.ac.jp